

私立 鹿児島純心女子短期大学

地元企業との連携と学生の学習力・行動力を支援する組織の強化策

取組期間	2009(平成21)年度～2010(平成22)年度
区分	学生支援推進プログラム
所在地	〒890-8525 鹿児島県鹿児島市唐湊4丁目22-1
設置者	鹿児島純心女子学園

取組内容とその成果

プログラムの目的及び内容

キャリア支援では、主な取組として「キャリア支援体制の充実を図る取組」と「学生の意識改革を図る取組」があり、学生の具体的な職業観を養い、就職に対するモチベーションを高め、意識改革に資し、具体的・実践的に就職活動に臨む能力を育成するものである。また、外部からアドバイザーを招聘し「キャリア支援体制の改善・強化」を実施し、時代の要請に合った人材育成を目指すものである。

学習力支援としては、学生自らが自分の人生を逞しく切り拓くための力を身に付けることへのモチベーションを高め、国語・英語や数学等の基礎的な学力・読解力を身に付け、入社試験や大学への編入学試験、公務員採用試験等を突破する学力を身に付けることを目指している。更に、他大学の視察や研修会の開催を通して、キャリア支援と学習力支援に関わる組織の改善と、教職員の学生支援に関する指導力向上を目指している。

到達目標

次の4つを目標としている。

- (1) 学生の就職活動に対するモチベーションを高め、学力の向上や人間性を更に高めて、これまで堅持してきた95%以上の進路達成率を今後も維持する。
- (2) 公務員等合格者を1桁台から2桁台に増やす。
- (3) 卒業後も自らの力で夢に向かって切り拓いていく力を付けた学生を育成する。
- (4) これまでのキャリア支援に関わる活動を見直し、時代の要請に合った学生支援プログラムを構築する。

プログラムの実施内容

(1) キャリア支援体制の充実を図る取組として、地元企業等の職場開拓や連携強化に当たる要員の配置、面接指導の改善と学生自身による面接の自己点検のためのビデオの設置、キャリア支援をバックアップするため、新たに Web ページと携帯サイトを構築する。

(2) 学生の意識改革を図る取組として、地元企業や鹿児島青年会議所等との連携を図るべく、企業が求める人材と本学の教育についての相互理解と意見交換を行うフォーラムの開催や、キャリア支援講座を実施する。

(3) 国語・英語・数学等の基礎力、一般教養力、コミュニケーション能力、行動力を習得できるような学習力支援講座の開設、eラーニングシステム導入による自学自習環境の整備と充実を図る。

(4) 本事業に関係する組織として、キャリア支援委員会と学習力支援委員会があり、双方の委員会の代表者等から構成した「学生支援推進プログラムワーキンググループ」を設置し、本事業の企画・実施に当たることとした。

プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

学内では、どのような方法で周知徹底したのか。

- (1) 2009(平成21)年9月教授会にて取組を説明した。
- (2) 教授会終了後、キャリア支援委員会と入試広報委員会で開催を聞き、概要と今後の取り組みについて説明し、その後両委員会からメンバーを選出し、学生支援ワーキンググループを設置した。
- (3) アセンブリーの時間に各担任から学生に説明した。
- (4) 学生支援ワーキンググループで会議を開き、

企画、推進、実施など具体的な内容を決定し、必要に応じて、その後の教授会で報告し、周知した。

(5) 学内広報誌「SAPIENTIA」に毎回掲載し、ホームページに掲載し周知した。

2. 当該プログラムの成果

(1) 自己評価は、どのような観点で行ったか。

本取組の評価方法として、次の観点から調査した。

① 学習力支援講座、キャリア支援講座受講者等へのアンケートからの評価 (資料1)

② 既卒者に対するアンケートからのキャリア支援に対する評価 (資料2)

③ 採用した企業に対するアンケートからのキャリア支援に対する評価 (資料3)

④ 既卒者・内定者の受験報告書の分析の結果からの評価をもとに自己評価を行った。

(2) 到達目標に達したか。

① 「学生の就職活動に対するモチベーションを高め、学力の向上や人間性を更に高めて、これまで

で堅持してきた95%以上の進路達成率を今後も維持する。」について

学生の就職活動に対するモチベーションを高め、学力の向上や人間性を更に高めて、2009(平成21)年度3月では、内定率90.0%、2009(平成21)年度最終では、内定率97.0%で、達成できた。2010(平成22)年度3月では、内定率99.3%、2010(平成22)年度最終では、内定率99.7%で、達成できた。(資料4)

② 「公務員等合格者を1桁台から2桁台に増やす」について

2009(平成21)年度2名、2010(平成22)年度3名で、年度ごとに増加傾向にあるが、目標達成には一歩及ばないところである。今後とも引き続き学習力支援講座等を継続し、個別に指導・支援を継続し達成に努める。

③ 「卒業後も自らの力で夢に向かって切り拓いていく力を付けた学生を育成する。」について

キャリア支援課を積極的に活用し、就職相談及び面接指導を申込み、不採用のたびに夢に向かい勇気を持って強く前に一歩進める学生が生まれ、この件については達成できたと判断している。以下面接指導を申し込んだ学生の延べ人数は、2009(平成21)年度194名、2010(平成22)年度330名、2011(平成23)年度567名である。④ これまでのキャリア支援活動を見直し、時代の要請に合ったキャリア支援プログラムを構築する。

2年間に亘り、国際教養大学、湘北短期大学、九州女子大学短期大学部などの先進大学を視察し、参考とするとともに学生支援推進プログラムの総仕上げとして、元通商産業省雇用開発課員、現在関西大学キャリア支援アドバイザー山元公子氏による教職員全員を対象とした講演会研修と本学キャリア支援アドバイザー及び本学専属ヤングハローワーク大卒ジョブサポーターによる教員・キャリア支援課スタッフとの意見交換会を開催し、アドバイスを受け、キャリア支援活動の見直し、時代の要請に合ったプログラムを構築することができた。

(3) 具体的な成果は何か。

① 就職活動の基本ツールとなる就活手帳等の発行
「就職&進学アクション手帳」は、2009(平成21)年度の就職支援対策活動を通して検討したもので、内容は2年間のスケジュール帳部分と就活・進学ガイドの2部構成となっており、就職活動を進める上で学生にとって十分に活用できるものとなった。

② 求人情報提供システムの構築

学生は携帯電話やパソコンからいち早く求人情報を得ることができるようになり、就職試験への取り組みがかなり向上した。求人票を掲示板だけではなく、Webページ等を通して学生に迅速に提供できるようになった。

③ キャリア支援等に関する情報提供のためのホームページの充実

本学のキャリア支援における取組をホームページで公開するなどして充実した内容となった。企業や高校生、その保護者からの問い合わせも多い。キャリア支援関係の講座の開催案内や求人情報等を効率的に提供できた。

④ 職場開拓・地元企業等との連携のための要員、学習力支援事務補助員、土・日・祝の就職相談要員の配置

職場開拓・地元企業等との連携のための要員は、270社余りの会社訪問や電話により求人依頼を行った。その結果、鹿児島県内の求人件数が前年度よりも110社ほど増えた。また、ハローワークとの連携により、学生職業総合支援センターのサイトから求人検索サービスの提供が受けられるようになり、学生に対して従来よりも多くの求人情報を提供できた。また、学習力支援事務補助員は、学習力・編入学支援講座の企画と事務処理、各種講座等のアンケート作成・集計や本取組の事務補助を担当した。土・日・祝日の就職相談要員は、休日にキャリア支援課で常

時待機し学生への対応・事務処理を担当し、在学生・卒業生約323名が利用した。このような活動の結果、就職内定率は鹿児島県内の短期大学の平均就職内定よりも常に高い内定率で推移することができた。

⑤キャリア支援に関する専門アドバイザーの招聘及び教職員研修の実施

外部からキャリア支援に関する専門アドバイザーを招聘して、356人の学生に対して面談・指導していただいた。また、大阪から就職対策・キャリア支援に関する専門コンサルタントのアドバイザーの専門家を招聘し、教職員の研修会も実施した。内容は、「学生支援のためのキャリアカウンセリング」をテーマとして約70名を超える教職員が参加し、今後、大学のキャリア教育に十分に役立つ研修会となった。

⑥外部講師によるキャリア支援・学習力支援に関する講演会・講座等の開催

キャリア支援講座等に対するアンケート結果を基に改善を加えた内容で、講演会、各種の支援講座を開催した。全学生の感想文によると学生にとって非常に有益な情報提供及び体験学習の場となった。

⑦キャリア支援講座や学習力支援講座に対するアンケート調査の集約と分析の実施。また既卒者や採用企業等に対するアンケートの実施

各種講座の受講者等に対してアンケートを実施し集計・分析した。その結果を基に今後開催する講座等の改善・充実を図ったり、新たに次年度「各種業界セミナー」等の対策講座を設けることができた。また、アンケートの自由記述欄に記載された学生の要望を集約することで、今どんなキャリア支援が求められているかを把握することができ、キャリア支援に関わっている教員等の意識改善を図ることができた。学生の要望には順次応えた。

⑧eラーニングシステムの導入による自学自習の学習環境の提供

eラーニングシステムについては、一昨年度「Moodle」を導入し、昨年度はさらに教職員と学生の情報提供の場「学生支援 Moodle」として求人情報、シラバス等の発信により内容の充実を図り、eラーニングコンテンツ UPO-NET については、昨年度 UPO-NET モジュールを導入した。教材については、SPI 等に関する教材を選択し、就職試験対策として学生が活用している。

⑨キャリアフォーラムの開催

学生と企業の採用担当者等との意見交換を行うフォーラムを実施し、企業が求める人物像、あるいは、

本学学生に何を期待しているか等について学生の理解を深められ、学生が日常の学習に対して積極的に取り組む重要なきっかけとなった。

⑩他大学等の視察研修の実施

大学のキャリア支援や学習力支援体制の改善・充実を図るため、国際教養大学、湘北短期大学、池坊短期大学、九州女子短期大学など優れた先進校の視察研修を実施した。また、この視察研修を通して教員の指導力の向上を図った。

⑪学習力支援室及びキャリア支援室の整備と相談活動の拡充

学生支援体制の環境を整備し強化を図った学習力支援室及びキャリア支援室は、いずれも出入り自由の部屋であり、担当教員やスタッフからのアドバイスや指導等が行われ、学生の学ぶ意欲や就職活動に対するモチベーションのアップを図ることができた。

⑫学習力支援講座の実施

学習力支援講座については、最終的に就職・編入学対策講座として実施することができた。当初、編入学対策講座、TOEIC 対策講座を実施した。その結果、基本となる国語力が不足していることが改めて問題となり、国語力を養成する講座を開講した。TOEIC 対策講座については、講師は TOEIC 事務局を運営する団体から、特に TOEIC 検定に精通した英語教員を招聘した。その結果、卒業時の平均点は531.4点、2年間の伸びは196.8点という目覚ましい成果を残した。

⑬地元企業、県外企業(東京・大阪・福岡)等を訪問し、求職拡大に努める。

本学生の就職希望地は、県内が多いので、270社余りの県内企業訪問を行い、また福岡、大阪、東京と多くの県外企業訪問を行なうなど、求職拡大に努めた。

今後の計画

1. 当該プログラムの成果をどのように活用していくか。

本プログラムの中で実効ある事業等については、継続して実施し、キャリア支援の年間計画、キャリア支援ツール、就職システム、キャリア支援講座などの充実、改善を図り、学生の就職活動に対するモチベーションを高め、学力の向上や人間性を更に高め、細やかなキャリアサポートに努め、これまで堅

持してきた 95% 以上の進路決定率を今後も維持するよう活用する。

2. 今後の計画

年間の就職対策計画の中に位置づけて、本学の予算で実施する。ハローワークとの連携、地元企業と連携しながら支援事業内容を継続し、学生、企業のアンケート等も参考にして次のとおり更に改善、充実していく。

(1) 「相談窓口の充実、休日等の対応の要員配置と携帯サイトの構築、キャリア支援課、進学・留学相談室、学習力支援室における相談活動の充実」については、学生支援サイト Moodle により携帯メールによる 24 時間相談・質問等の受付システムで対応する。

(2) 「就職システムの求人票提供システムの改善」については、学生支援サイト Moodle との連携により、迅速な情報配信（1 次情報）と自宅からでも閲覧できるポータルサイトの詳細な求人票閲覧（2 次情報）提供で、引き続き運用を継続し、継続的に学生の就活意識を啓発し、モチベーションの維持に資する。

(3) 「地元企業等との連携によるフォーラムの実施」については、本学の予算で継続して毎年実施する。

(4) 「外部講師招聘による学生のキャリア支援」については、年間の就職対策計画の中に位置付けて本学の予算で実施する。

(5) 「学習力支援講座等の実施」については、重要な支援との認識のもと、学生や教職員のアンケート等も参考にして毎年その改善充実を図り実施していく。

(6) 「e ラーニングシステムの活用」については、UPO-NET のコンテンツを大いに活用し、学内講座として更なる活用を図る。2011(平成 23)年度同様、最新の採用試験形式の一つである WEB テスト対応など日常の学習活動の中で積極的な活用を図っていく。

(7) 「TOEIC 対策講座」 本学の予算で継続して、毎年実施する。

(8) 「キャリア支援・学習支援に関する教職員研修」については、先進大学の優れた実践の視察・研修をさらに実施していく。

(9) 地元企業、県外企業(東京・大阪・福岡)等を訪問し、求職拡大に努める。

(10) 「卒業生採用企業及び卒業生へのアンケート調査によるキャリア支援対策の見直しと改善」は 3

年に 1 回ずつ定期的に調査し、キャリア支援対策の見直しと改善に努める。

就職未内定者への支援策

1. 内定（内々定）のピークを過ぎても内定（内々定）を得られない者への支援策

未定者を対象に「就活サポート講座」を 2 回実施し、就職環境の現状報告と先輩の成功例や具体的な就職活動方法などについて説明し、一人ひとりの学生にきめ細かく対応し、指導支援している。

2. 未内定のまま卒業した者への支援策

未内定者に対し、卒業式前にキャリア支援課への「職業紹介斡旋登録」を案内し、登録後、引き続き、希望職種に応じて求人情報を携帯電話にメール配信し、またインターネットメールアドレスに求人票（PDF データ）をメール配信し、その後電話で相談を受けたり、本学にて直接面接指導するなど、在学時と変わらない内容で支援している。

資 料

キャリアフォーラムについてのアンケート集計（在学生 / 本学職員 / 一般 / 高校生）

開催日：平成22年1月9日（土）

アンケート回答者数	在学生	328人
	本学職員	33人
	一般	6人
	高校生(3年生)	6人

1 今回のフォーラムについて全体的に満足していますか。

	在学生		本学職員		一般		高校生	
	人	%	人	%	人	%	人	%
満足している	217	66.2	20	60.6	3	50	6	100
どちらかと言えば満足している	86	26.2	11	33.3	3	50	0	0
どちらとも言えない	20	6.1	2	6.1	0	0	0	0
どちらかと言えば満足していない	2	0.6	0	0	0	0	0	0
満足していない	3	0.9	0	0	0	0	0	0
合計	328	100	33	100	6	100	6	100

2 どのディスカッションが一番興味深いものでしたか。（一般のみ）

	一般	
	人	%
職場やまちでの純短生の評価は？	3	50
企業が求めている人材は？純短生に望むことは？	3	50
夢実現に向けて、今やるべきことは？	0	0
将来の鹿児島を担う皆さんへ！	0	0
合計	6	100

3 今回のフォーラムで自分が考える短大生の在り方と実際に社会が求めている短大生の在り方について違いがありましたか。（一般は除く）

	在学生		本学職員		高校生	
	人	%	人	%	人	%
まったく違った	19	6.1	2	6.1	1	16.7
少し違った	189	58.2	6	18.2	4	66.7
違った	42	12.8	3	9.1	0	0
違わなかった	75	23.0	21	63.6	1	16.7
未回答	3	0.9	1	3.0	0	0
合計	328	100	33	100	6	100

4 今回のフォーラムで社会が求める短大生の在り方について理解することが出来ましたか。

	在学生		本学職員		一般		高校生	
	人	%	人	%	人	%	人	%
よく理解できた	157	47.9	17	51.5	5	83.3	3	50
理解できた	172	52.1	12	36.4	0	0	3	50
どちらとも言えない	19	5.8	4	12.1	0	0	0	0
理解できなかった	3	0.9	0	0	1	16.7	0	0
まったく理解できなかった	6	1.8	0	0	0	0	0	0
無回答	3	0.9	0	0	0	0	0	0
合計	328	100	33	100	6	100	6	100

5 このフォーラムは、学生が社会に求められる短大生になろうという気持ちを起こす内容だと思いましたか。（一般のみ）

	一般	
	人	%
思った	6	100
どちらとも言えない	0	0
思わなかった	0	0
合計	6	100

6 今回のフォーラムで学生が今後の短大生活・社会生活をどう過ごしていくかを考える良い機会になったと思いますか。

	在学生		本学職員		一般		高校生	
	人	%	人	%	人	%	人	%
とてもなった	209	63.7	16	48.5	0	0	6	100
なった	94	28.7	17	51.5	6	100	0	0
どちらとも言えない	15	4.6	0	0	0	0	0	0
ならなかった	4	1.2	0	0	0	0	0	0
まったくならなかった	4	1.2	0	0	0	0	0	0
無回答	2	0.6	0	0	0	0	0	0
合計	328	100	33	100	6	100	6	100

7 パネリストの方々にさらに聞いてみたかったこと

【在学生】

- 女性が、産休・育児休暇も取ることは出来るのでしょうか。また、休みの間に仕事内容が変わっていたということはないのでしょうか。
- “元気”が大切だと言っていました。元気を表す表現方法は声の大きさだけしか分からなかったのですが、他に何かありますか。
- 短大卒でも人事異動などはあるのでしょうか。
- 自分をうまく表現するにはどうしたらよいか。
- 第一志望とする職に就けなかった場合、他の場所で働く上で最も重要なことはありますか。
- 社会人として働くために何を心がければよいのか。
- 新卒と既卒の差があることは分かりましたが、どうして差をつくるのか知りたい。
- 企業から見ると“元気さ”とは、どのようなことが詳しく教えて欲しい。
- 面接で一番やってはいけないことは何か。
- 何年目くらいから働くことに慣れましたか。
- 学生と社会人が求める人材のギャップについて。
- 持っていたほうが良い資格。
- 不景気で、就職に有利なのは4大生なのか。
- 事務という仕事が求める人材を具体的に知りたい。

【本学職員】

- 卒業生の貴島さんのような方がもう一人くらいいても良かった。また、毎年たくさんの採用をしてくださる企業の方の話はとても参考になる。
- 社会人になってから、企業が実際に見た若者像を、もっとくたくのない意見をお聞きし、その上で、社会人として足りない点をもっとお聞きしたかった。
- 迷ったけれどもあえて採用に踏み切ったということはなかったか。逆に、特に不足はないけれども採用を見送ったということはなかったか。実際の例があれば紹介してほしい。(その決め手は何だったのか。)
- 入社後、伸びる社員とそうでない社員の違い。
- 女性のキャリアについてもご発言がありましたので、女性のキャリア形成の考え方についてもお話をもっと伺いたかったです。
- 最近の新入社員に足りないことは何ですか。

8 キャリアフォーラムに対する意見・要望 ()内は同回答者数

【在学生】

- 出来れば、もう少し話の内容をまとめて話して欲しい。(3名)
- 進行者のパネリストに対する質問事項と学生が本当に知りたいことが異なっていた。(4名)
- 2年生が参加する必要はないと思う。(2名)
- 短大生の在り方の話ではなく、純短生の在り方についてだったので、もう少し幅の広い話を聞きたい。
- 来てくださった、企業の方々の話よりも、学生の話のほうが長かったので、気をつけてほしい。
- 職場や町での純短生の評価はいらないと思う。

【本学職員】

- パネラーの男女のバランスを取ったほうがよいのでは。
- この企画は今後、年度のはじめの時期に全員に出席を義務化して実施してほしい。
- 毎年は必要なくて、2年に1度開催して1年次に聞くことで十分だと思います。

9 キャリアフォーラム感想 ()内は同回答者数

【在学生】

- パネリストの方の話は短く、分かりやすかった。
- 企業が求める人材についてよく分かり、参考にさせていただきます。
- たくさん情報を得ることができた。就職が決まっていないので、今回の話を参考に、これから就職活動を頑張っていきたい。
- 社会の求めている人材・短大生のあり方が自分の思っていることと大差なく、自分の考えが間違っていなかったことを確認することが出来ました。自信を持って頑張りたいです。やはり、仕事によって求める人材も変わってくると思いました。
- 話を聞くことが出来てよかったです。(3名)
- 将来、保育者として働きたいという型にはまった考えしかありませんでしたが、もっと視野を広げ、社会から必要とされる女性になりたいと思いました。
- 企業の方々の意見が聞けてよかった。

【本学職員】

- 鹿銀、京セラの方のアドバイスがとても役に立った。
- 学生が講師の言葉に熱心に耳を傾け、多数の質問、意見もあり、活発な論議がなされ、爽りあるフォーラムであったのではないかと。
- パネリストの人選がよく、大変有益な内容であった。
- 出席しなかった学生は、今後の自分の生き方等を考えるのに大きな一つの機会を失くしたと思う。

【一般】

- 学生も率先した質問があり、パネリストが非常に丁寧に答えていたのがとても印象的でした。
- 企業側の生の声を聞く機会は、とても貴重だったと思います。ディスカッション③、④については、時間不足でもの足りない。中途半端な感じがします。

【高校生】

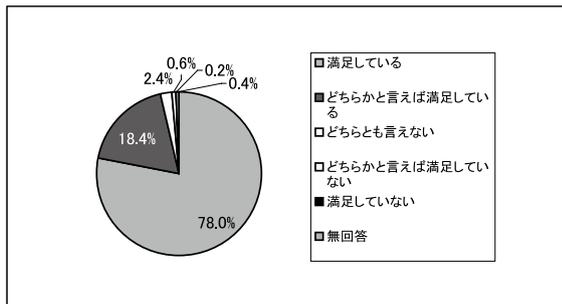
- このようなお話を聞きする機会がなく、とても貴重なお話となりました。また、これから目指すべき人間像が少し見えた気がします。人間的にこうあるべきなど、ストレートに聞くことが出来ました。就活での面接の様子や純短の在学生から体験談、企業の方々からのお話を聞けてとてもよかったです。

平成22年度キャリアフォーラムについてのアンケート集計（在学生）

開催日：平成22年6月26日（土）
 フォーラム参加者数 476名
 アンケート回答者数 463名
 アンケート未回答者 13名

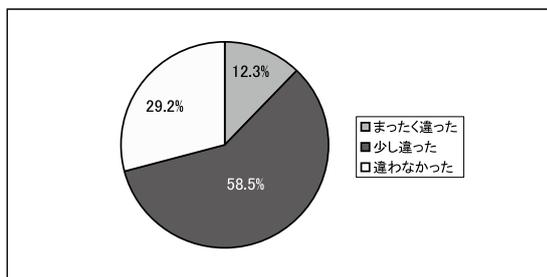
1 今回のフォーラムについて、全体的に満足していますか。

	人数	%
満足している	361	78.0%
どちらかと言えば満足している	85	18.4%
どちらとも言えない	11	2.4%
どちらかと言えば満足していない	3	0.6%
満足していない	1	0.2%
無回答	2	0.4%
合計	463	100.0%



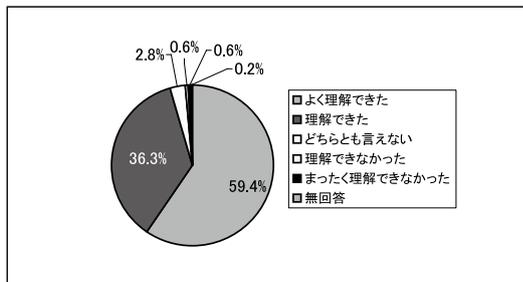
2 今回のフォーラムで自分が考える純短生の在り方と実際に地域社会が求めている純短生の在り方について、違いがありましたか。

	人数	%
まったく違った	57	12.3%
少し違った	271	58.5%
変わらなかった	135	29.2%
合計	463	100.0%



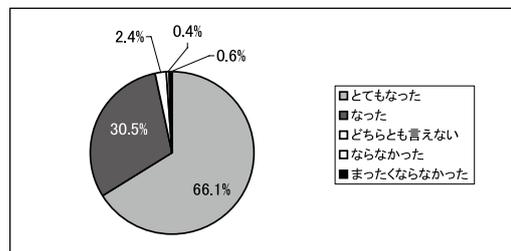
3 今回のフォーラムで地域社会(企業)が求める人材について理解することができましたか。

	人数	%
よく理解できた	275	59.4%
理解できた	168	36.3%
どちらとも言えない	13	2.8%
理解できなかった	3	0.6%
まったく理解できなかった	3	0.6%
無回答	1	0.2%
合計	463	100.0%



4 今回のキャリアフォーラムで今後の学生生活の中で何を勉強し、どう過ごしていけばよいかを考える良い機会になりましたか。

	人数	%
とてもなった	306	66.1%
なった	141	30.5%
どちらとも言えない	11	2.4%
ならなかった	2	0.4%
まったくならなかった	3	0.6%
合計	463	100.0%



平成21年度 航空・ホテル・旅行業界セミナーについての調査結果

平成21年9月29日
 9月19日（土）実施 受講者数31名 アンケート回答者数31名

1 あなたが希望する職種は何ですか。

職種	人数	%
航空	17	54.8
ホテル	4	12.9
旅行	10	32.3

2 今回のセミナーについて、全体的に満足していますか。

	人数	%
満足している	30	96.8
どちらかといえば満足している	1	3.2
どちらともいえない	0	0
どちらかという満足していない	0	0
満足していない	0	0

3 今回の開講時間について

	人数	%
短すぎる	0	0
短い	7	22.6
適当である	23	74.2
長い	1	3.2
長すぎる	0	0

4 本講座の開催時期として、いつがよかったですか。

	人数	%
4月～7月	14	45.2
夏休み	6	19.4
9月～12月	11	35.5
春休み	0	0

5 本講座の回数について

	人数	%
年1回	6	19.4
年2回	17	54.8
毎月	8	25.8

6 本講座の内容について

	人数	%
分かりやすい	30	96.8
やや分かりやすい	0	0
適当である	1	3.2
やや難しい	0	0
難しすぎる	0	0

7 今後の進路の参考になったかについて

	人数	%
すごく参考になった	27	87.097
ややなった	3	9.6774
参考になった	1	3.2258
ややならなかった	0	0
まったくならなかった	0	0

平成 22 年度各種業界セミナーアンケート集計

開催期日:平成22年9月18日(土)

開催場所:27号館7階体育館

対象者:全1年生・2年生希望者

アンケート回答者数:200名

G・・・73名(内、2年生1名)

L・・・21名

C・・・32名

S・・・38名(内、2年生1名)

E・・・35名

W・・・2年生1名

1 あなたが説明を受けた業界の番号はどれですか。

	人数	%
(1)製造・メーカー	41	6.9%
(2)卸売り・小売り	47	8.0%
(3)ファッション・アパレル・ブライダル	97	16.4%
(4)宿泊・旅行・サービス業・エアライン	123	20.8%
(5)医療・福祉	37	6.3%
(6)金融・保険	44	7.5%
(7)運輸業	71	12.0%
(8)教育・公務	39	6.6%
(9)幼稚園・保育園・施設	53	9.0%
(10)栄養士・品質管理	38	6.4%
合計	590	100.0%

2 今回のセミナーについて、全体的に満足していますか。

	人数	%
満足している	137	68.5%
どちらかといえば満足している	53	26.5%
どちらともいえない	6	3.0%
どちらかといえば満足していない	4	2.0%
満足していない	0	0.0%
合計	200	100.0%

3 今回のセミナー時間についてはどうでしたか。

	人数	%
短すぎる	5	2.5%
短い	28	14.0%
適当である	155	77.5%
長い	9	4.5%
長すぎる	3	1.5%
合計	200	100.0%

8 その他、他に聞いてみたい業界や企業等、要望がありましたら、自由にお書きください。

- ・とても良い話が聞けて参考になりました。今後の進路に生かしたい。
- ・ありがとうございました。
- ・自分の興味のある企業もあり、とても良かった。
- ・実施期日が早いほど、意欲が高まるのではないのでしょうか。
- ・暑かったので、時期をずらして欲しい。自分の希望する職業だけを聞きたかった。
- ・暑かった。倒れた人がいました。
- ・暑かったので、教室等を使用して頂けたら幸いです。
- ・暑いです。企業の方にも失礼だと思います。
- ・いくつもの企業が一ヶ所で行ったので、話が聞けないことがありました。
- ・暑くて集中できない。
- ・アパレルの企業があったらよかった。
- ・学生も水分補給をする時間があつたほうが良いと思う。
- ・もう一度京セラを聞きたいです。九州電力も話を聞きたいです。
- ・畜産・産業・農業系の職の話が聞きたいです。
- ・できれば午前中にして欲しいです。

8 他に関連する希望の講座がありましたら、記入してください。

- 旅行関係

9 その他要望等を自由にお書きください。

- JTBの方のお話も伺いたいです。
- お昼からではなく午前中からがよかった。

4 セミナーの開催時期として、いつがよかったですか。

	人数	%
4月～7月	37	18.5%
夏休み	13	6.5%
9月～12月	145	72.5%
春休み	5	2.5%
合計	200	100.0%

5 セミナーの内容についてはどうでしたか。

	人数	%
分かりやすい	120	60.3%
やや分かりやすい	54	27.1%
適当である	24	12.1%
やや難しい	1	0.5%
難しすぎる	0	0.0%
合計	199	100.0%

(無回答1名)

6 今後の進路の参考になりましたか。

	人数	%
とても参考になった	130	65.0%
やや参考になった	48	24.0%
参考になった	19	9.5%
やや参考にならなかった	3	1.5%
全く参考にならなかった	0	0.0%
合計	200	100.0%

在学生の進路支援を充実させるための卒業生アンケート

1. 現在の状況について。

正規雇用	パート	アルバイト	求職中	未婚	介護休業中	学生	契約社員
33	2	1	2	1	1	3	1
75.0%	4.5%	2.3%	4.5%	2.3%	2.3%	6.8%	2.3%

2. 鹿児島純心女子短期大学を卒業して良かったと思いますか。

はい	いいえ
44	0
100%	0%

3. キャリア支援課の開催する講座や支援に満足されましたか。

はい	いいえ
40	4
90.9%	9.1%

4. もっと支援を充実してほしいというものがありますか。

マナー・服装講座	総合対策講座	SPI講座	キャリアフォーラム	面接対策練習	就職相談	キャリア支援専門アドバイザー	その他
13	6	3	3	10	10	4	3
25.0%	11.5%	5.8%	5.8%	19.2%	19.2%	7.7%	5.8%

5. 短期大学の授業で、社会に出て一番役に立っていると思われるものは何ですか。

- ・電話対応 ・秘書学 ・看護学 ・介護系 ・パソコン演習 ・フィールドワーク ・インターンシップ
- ・コミュニケーション能力 ・国際理解の授業 ・接遇実践 ・アSEMBリーでの講話やマナー ・感想書き
- ・人との接し方 ・ピアノ ・服装講座 ・大学在中ですが短大の授業のほとんどが役立っています。

6. 在学時、やっておけばよかったと思うのはどんな事ですか。

サークル活動	アルバイト	インターンシップ	専門性の深化	読書	その他
13	17	8	19	8	5
18.6%	24.3%	11.4%	27.2%	11.4%	7.1%

7-1. あなたが採用担当者として、新卒者採用で重視するものはどんな点ですか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	明朗さ	バイタリティ	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	その他
17	6	27	12	2	17	3	30	
7.7%	2.8%	12.4%	5.5%	0.9%	7.7%	1.4%	13.8%	
協調性	社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	
15	12	4	2	3	2	6	17	
6.9%	5.5%	1.8%	0.9%	1.4%	0.9%	2.8%	7.7%	
実行力	課題発見力	創造力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力	その他
10	1	3	3	11	6	2	6	1
4.6%	0.5%	1.4%	1.4%	5.0%	2.8%	0.9%	2.8%	0.5%

7-2. 純短生に備わっているのはどんな点だと思いますか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	明朗さ	バイタリティ	奉仕の精神	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	その他
5	16	25	11	3	25	4	14	9	
2.6%	8.5%	13.1%	5.8%	1.6%	13.1%	2.1%	7.3%	4.7%	
協調性	社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	企画力	
14	11	5	3	5	3	4	6	4	
7.3%	5.8%	2.6%	1.6%	2.6%	1.6%	2.1%	3.1%	2.1%	
課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	規律性	ストレスコントロール力	その他	
1	1	3	1	5	2	7	2	2	
0.5%	0.5%	1.6%	0.5%	2.6%	1.0%	3.7%	1.0%	1.0%	

7-3. 純短生に欠けているのはどんな点だと思いますか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	バイタリティ	奉仕の精神	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	協調性	
8	9	3	5	3	5	1	3	2	
5.7%	6.4%	2.1%	3.6%	2.1%	3.6%	0.7%	2.1%	1.4%	
社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	企画力	実行力	
1	5	4	3	4	10	5	5	5	
0.7%	3.6%	2.9%	2.1%	2.9%	7.2%	3.6%	3.6%	3.6%	
課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力	その他
9	3	1	8	4	6	8	7	7	6
6.4%	2.1%	0.7%	5.7%	2.9%	4.3%	5.7%	5.0%	5.0%	4.3%

8. キャリア支援課では卒業生に対する進路支援(求人紹介、各種相談等)も実施しておりますが、ご存知ですか。

はい	いいえ
38	5
88.4%	11.6%

9. 在学生に対するメッセージをお願いします。

- ◎ 私でも就職できたので、がんばって下さい。
- ◎ 2年生も1年生も、今の時期は将来(卒業後)について悩んだりする時だと思いたいますが、自分のしたい事が何かを考えて、それに近づけるように頑張ってください。
- ◎ 今年も就職難だと言われており、就職活動が大変だと思いますが、体調に気をつけて、頑張ってください。
- ◎ 就活をする中で、色々辛いこともあると思いますが自分の納得するまで諦めず頑張ってください。社会人は学生とまた違った楽しさがあります。
- ◎ 就職先の仕事に関する能力の期待度を調べて、自分の能力がそれに合うか、充分確認した上で、仕事に就いたほうが良いと思います。
- ◎ 就職活動は本当に大変だと思いますが、積極的に行動して努力していけばきっと報われると思います。頑張ってください。
- ◎ 就職活動は辛く険しい道のりですが、最後まであきらめず頑張ってください。短大生が役に立つ日がきつときます
- ◎ 自分が就きたい仕事を見つけて頑張ってください。・周囲からいろいろ言われたとしても強い信念を持って就職先を決めてください。必ず良い出会いがあると思います。・周囲の人が次々決まり年を明けての就活の方もいるかと思いますが、焦らず就職先を決めてください。・就職活動ばかりではなく、気分転換をして心を落ち着かせる時間もつくるようにしてみてください。
- ◎ 在学中に、今学んでいること(専門分野)でその進路に進もうか迷っている人も多いと思います。私もずっとこのまま進んでもいいのかな…と、違う道を選ぶとして試行錯誤したうちの一人です。結局そのままに在学中に学んだ専門分野を生かせる職業に就きましたが、今はこの道を選んで本当に良かったと思っています。働いてからその職の良さや魅力に気付くことも沢山あると思います。迷っている人は、とりあえず…という訳ではないですが、そのままの道に進んでみても良いのでは？と思います。頑張ってください。
- ◎ あっという間の2年間を、悔いなく過ごしてください。
- ◎ 自分を必要としてくれる企業は必ずあります。・履歴書は早く送った方がいいです。・普段から敬語に慣れていた方がいい
- ◎ 就職活動は苦しく辛い物だとは思いますが、自分を見つめなおす良い機会であり、多くの人に接することができるチャンスでもあると思うので精一杯頑張ってください。自分の実行力が試されると思うのでたのしんで自分らしく行動して欲しいと
- ◎ 短大で学ぶべきことをしっかり学んでいれば、それは必ず社会人になったときに役に立つと思うので、今やるべきことを考えながら、学生生活を楽しんで頂きたいと思います。
- ◎ 何事も諦めずに一生懸命頑張ってください。
- ◎ 働くことは大変なことです、毎日がとても充実しています。ぜひ就職活動を乗り越えて、楽しくやりがいのある社会人生活をスタートしてほしいです。応援しています。
- ◎ がんばってください!!
- ◎ 2年間という短い期間だけど、夢に向かって一生懸命できることをすれば素晴らしい仕事場に出会います。中途半端に終わるのではなく、最後まであきらめずに突き進んでください。後悔だけはしない学生ライフを過ごして下さい。応援しています。
- ◎ 厳しい世の中だけどがんばってください！自分らしさをだして笑顔でのぞめばだいじょうぶ！)
- ◎ 私は純短生であったことを誇りに思います。それはみなさんが卒業してから色々な場面で気付くことでしょう。夢に向かって頑張ってください。
- ◎ 現在就職難が大変だと思いますが、色々な講座や相談会などには、積極的に参加して、自分の力にして下さい。前向きに頑張ってください。
- ◎ まだまだ就職難ですが、地道にコツコツと自分を信じて頑張ってください。
- ◎ 働きながら、「もっと専門性を深めたい！」と勉強するのはなかなか難しいことです。学生である今が本当にチャンスだと思うので、学ぶべきこと、やりたいことにどんどんチャレンジしていきましょう。
- ◎ 失敗することがあっても、決して諦めないで下さい。短大で学んだことを精一杯、発揮し、夢に向かって頑張ってください。応援しております。
- ◎ Q6その他「様々な資格を取ったり、一般教養の勉強をすべきだった。」Q9妥協せず、最後まで頑張って自分の望む所へ進めるよう頑張ってください。
- ◎ 学生生活、すぐ終わってしまうので、今のうちにできること、やりたいこと、挑戦したいことをして、充実した学生生活を送ってください。
- ◎ 不況と言われる厳しい時代ですが、純心短大で培ったものを糧に自分を信じて頑張ってください。応援しています。いつも感謝の気持ちと素直さを忘れずにお過ごしください。
- ◎ 就職状況が厳しく、大変だと思いますが最後まで自分を信じて、前を向いて頑張ってください。鹿児島県内に就職先がありましたら情報の方よろしくお願致します。
- ◎ 私が思うのは専門性とかよりも最初は明るくやる気があれば大丈夫だと思います。辛いこともあると思いますが頑張ってください。
- ◎ 社会に出てから学ぶことも沢山ありますが、まずは基礎を短大で学習しておかなければ後々苦労するのは自分です。もちろん遊ぶことにも思い切り力を注いでほしいですが、人間的に成長しようとする意思を持ちながら学生生活を過ごしてほしいです。純短での講義は他の短大にはないものばかりで、日々の仕事で本当に役立っています。自信を持って頑張ってください。
- ◎ 在学中に先輩方と情報交換を行ったことが実習や教師となった今も役に立っています。またどのような職業につくのかは最後に自分で決めなければいけないことだと思います。自分で決めたことに自信を持って頑張ってください。就職活動は大変だと思いますけど、応援しています。
- ◎ 私は在学中は食物栄養専攻でしたが栄養士にはなりませんでした。私のように専門の道には進まない学生もいると思います。そういう方は早めの就活を心掛けて下さい。他のコースとの競争になりますが、自己分析をしっかりすれば面接は乗り越えられます。気になった企業は物怖じせず積極的に受けた方がいいです。たとえ落ちたとしても面接の練習になるし、失敗を次に生かすことができるからです。新卒で就職した方が有利なので、諦めず頑張ってください。
- ◎ 毎日毎日日々を大切に、自分なりに励み、目標に向かって頑張ってください。
- ◎ 就職がなかなか決まらなくて不安だと思いますが、焦らず自分のペースで頑張ってください。
- ◎ 学生のうちにいろいろな体験をしてください。そして今を楽しんでください。
- ◎ 不況で就職活動等とても大変だと思います。しかし、あせってしまい、内定をいただいても、合わずに苦労したり、退職になってしまうこともあります。今はしっかり自分と向き合い、自分を理解し、自分磨きをして、夢を見つけてください。そしてその素敵な夢に向かって頑張ってください。諦めず、最後まで頑張れば必ずステキな道がひらけます。
- ◎ 今は出来にくいことにチャレンジして下さい。勉強や遊びなど…。社会人になったら、自由に出来る時間がほとんどなくなりますよ。

人事担当者へのアンケート

Q1. 新卒者(女子)の採用にあたって重視しているのは、どのような資質でしょうか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	明朗さ	バイタリティ	奉仕の精神	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	協調性
39	11	42	33	6	4	18	7	37	33
12.0%	3.4%	12.9%	10.2%	1.8%	1.2%	5.5%	2.1%	11.3%	10.2%
社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	企画力	実行力	課題発見力
4	11	0	3	6	14	20	1	5	2
1.2%	3.4%	0.0%	0.9%	1.8%	4.3%	6.1%	0.3%	1.5%	0.6%
計画力	創造力	発信力	傾聴力	25 柔軟性	状況把握力	規律性	働きかけ力	ストレスコントロール力	その他
1	3	0	4	7	8	3	1	3	1
0.3%	0.9%	0.0%	1.2%	2.1%	2.4%	0.9%	0.3%	0.9%	0.3%

Q2. 雇用した本学の卒業生あるいは就職活動で対応した本学の学生をみて、比較的備わっていると感じられ、評価できる点はどんなところですか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	明朗さ	バイタリティ	奉仕の精神	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	協調性
21	3	43	28	4	10	15	28	16	25
7.5%	1.1%	15.3%	10.0%	1.4%	3.6%	5.4%	10.0%	5.7%	8.9%
社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	企画力	実行力	課題発見力
5	26	0	7	1	2	18	0	0	2
1.8%	9.2%	0.0%	2.5%	0.4%	0.7%	6.4%	0.0%	0.0%	0.7%
計画力	創造力	発信力	傾聴力	25 柔軟性	状況把握力	規律性	働きかけ力	ストレスコントロール力	その他
1	2	0	5	3	2	12	1	0	0
0.4%	0.7%	0.0%	1.8%	1.1%	0.7%	4.3%	0.4%	0.0%	0.0%

Q3. 本学の卒業生及び学生に欠けている、あるいはもっと備わってほしいと思われる点はどんなところですか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	明朗さ	バイタリティ	奉仕の精神	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	協調性
10	4	4	0	11	3	6	0	10	3
5.0%	2.0%	2.0%	0.0%	5.4%	1.5%	3.0%	0.0%	5.0%	1.5%
社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	企画力	実行力	課題発見力
1	1	10	6	14	13	6	11	9	8
0.5%	0.5%	5.0%	3.0%	6.9%	6.5%	3.0%	5.4%	4.5%	4.0%
計画力	創造力	発信力	傾聴力	25 柔軟性	状況把握力	規律性	働きかけ力	ストレスコントロール力	その他
6	12	9	2	7	16	3	5	11	0
3.0%	6.0%	4.5%	1.0%	3.5%	7.9%	1.5%	2.5%	5.4%	0.0%

Q4. 今後、求める人材像から見た大学教育に期待するものとして重要な資質は何だと思われますか。

一般常識	専門性(資格等)	マナー・礼儀作法	明朗さ	バイタリティ	奉仕の精神	熱意	やさしさ	コミュニケーション能力	協調性
19	13	19	4	6	3	8	5	27	8
6.9%	4.7%	6.9%	1.5%	2.2%	1.1%	2.9%	1.8%	9.8%	2.9%
社交性	誠実性	発想力	実務能力	主体性	チャレンジ精神	責任感	企画力	実行力	課題発見力
2	6	8	6	10	16	8	14	11	15
0.7%	2.2%	2.9%	2.2%	3.6%	5.8%	2.9%	5.1%	4.0%	5.5%
計画力	創造力	発信力	傾聴力	25 柔軟性	状況把握力	規律性	働きかけ力	ストレスコントロール力	その他
9	15	5	2	8	8	3	2	15	0
3.3%	5.5%	1.8%	0.7%	2.9%	2.9%	1.1%	0.7%	5.5%	0.0%

Q5. 本学の卒業生や学生と接してのご感想等を率直に記述してください。

No2

- ◎ 元氣な挨拶が印象的です。これからも元氣よく自分を主張してほしいです。
- ◎ 明るく前向きに仕事に取り組んでいただいています。一年目としては内容的にもすばらしいと感じています。
- ◎ 礼儀正しく明るくやさしい人が多いと感じます。社交性も備わっている人が多いようです。一方で指示を受ける仕事はしっかりできるもの、ある程度自分で判断する、考えることが苦手な印象は受けず。全体的には大変良い学生が多く仕事の上でも助かっております。今後よろしくお願ひいたします。
- ◎ 一般常識もあり、教えたことに対しては誠実に仕事をこなしているようです。あと積極性や新しい事にチャレンジをする行動力がもう1つ欲しいと思います。
- ◎ 卒業生に関しては何事も前向きに取り組んでおり、他スタッフとの関係も良好に築けています。主体性やチャレンジ精神が出てくるとさらに伸びるのではないかと感じています。学生さんは、真面目に実習に取り組む、「学びたい」という熱意をかんじました。
- ◎ 他校に比べると良好と思われるが、全般的「保育の専門性」に関し、学生時代に十分理解し、自分のものになるまでになっていない(消化不良)点を留意していただけたとありがたいです。
- ◎ 明るくていい方です。専門(英会話)の活用する場面が少なく会社の方としてはもう少し場面を作ってあげたいと思います。
- ◎ 御校だけでなく近年の学生に傾向として当てはまっているものを回答させていただきました。今後の教育としては、知識も大切ですが、自分がしている事の本質やどう社会に貢献しているかなどを我々にも考えていく必要があるかと思ひます。
- ◎ 採用実績がないため上記のみの返信とさせていただきます。
- ◎ 接客態度も良く、明るい笑顔は好感が持てる。健康的である。
- ◎ 教えられた事、課題は無難にこなします。それから先が欲しい。自分磨き業務に対するスキルアップをさらに目指して欲しい。
- ◎ 貴校の卒業生ははじめに良く頑張っている。就職してからも個々学習して(研修以外自分で専門分野や社会人としての質のレベルアップ)、素敵な女性であってほしいと思ひます。
- ◎ 新卒採用は企業として初めてであった。個人の能力にもよると思ひますが、協調性、責任感も強く、およそ期待通りの成長をしている。今後とも時期をみて貴校に新卒者の依頼を考えています。
- ◎ 勤務年数が短くまだこれらに期待したいと思ひています。育ててゆきたいと思ひています。
- ◎ 熱心で責任感の強い方多いように思ひられます。バイタリティやストレスコントロールを身につけられるとさらに期待できると思ひます。
- ◎ 個人差もあるが特記すべき事はありません。
- ◎ Q3の備考に「面接に来られる方は資質に欠けていません。」と書かれました。
- ◎ Q3の備考に(精神的な弱さがある)と書いてありました。
- ◎ 真面目で素直な点や、誠実なやさしさをもった学生様だと感じました。又、卒業生の方もそのように感じております。逆にもっとエネルギーに自己主張し、チャレンジする姿勢が前向きに出てよいのではないかと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。
- ◎ 他大学出身者と比較して、母校に対する誇り、プライドを感じさせます。
- ◎ 女子学生に求めると言うよりも全学生に対してまず明るさと礼儀作法を求めます。
- ◎ 県内有効の学生が在学されており、質の高さを感じます。周囲との調和や明るさも備えており、貴重な戦力になってきています。貴校の教育が大きく貢献されているのでしよう。
- ◎ 現在2人の卒業生に就労してもらっているが、奉仕の精神、責任感を前面に出しながら仕事に打ち込んでいます。今後、キャリアを積みながら課題発見力、想像力を身につけ、施設職員のリーダー的存在となっていただくことを期待します。
- ◎ 挨拶、マナーは、園児学などからもしっかりされているように感じます。また、入社してからも、日々熱心に保育に取り組んでいるようです。
- ◎ 他校に比し、一般基礎力(学力も含め)を保っているように感じる。
- ◎ 基本的な事は備わっており、ホスピタリティで欠かせないホスピタリティマインドを持っている。やさしさも持っているがもっと自己表現すると尚良いと思ひます。
- ◎ 礼儀作法、やさしさはすばらしいと思ひます。熱意、元気が少し足りないような感じがしました。当組合は、明るく熱意をもった人を求めたいと思ひます。
- ◎ Q4「判断しなければならぬ事を、判断出来る能力を備えて欲しい。又、判断したことを報告出来る様にして欲しい。」Q5時代の流れではあるが、我々の会社、業界で一番必要な事は、人間本来持つべき、ふるまい方、行動、温かさ…その他いろいろありますが、技術、テクニックだけではないと思ひます。
- ◎ 学ぶ姿勢がとても良いが、次にいかに実践が難しいようです。
- ◎ Q3の備考「一応のレベルはありますが、更に備わってほしい事項です。」Q5「非常に素直な性格の学生が多いという印象を持っています。貴大の学風と認識している「やさしさ」を持った人が多いようです。昨年当院で採用した2名については、本当にいい人材を採用したと思ひています。今後は、当院で社会人として成長できるように指導教育を行っていきますのでご安心ください。ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。」
- ◎ 非常に良く教育されていて実務能力が高い。やる気が感じられ、素直である。
- ◎ おとなしめの方が多いですが、みなさん責任感が強く、べきことをきっちりとしてくれるという印象があります。
- ◎ とてもやさしく誠実に仕事をされています。しかし、利用者の皆さんの心からの声に耳を傾け、何とか改善しようとする意欲が今の所感じられません。今後、利用者の皆さんとのコミュニケーションを深め、どんな小さなことであっても気になることがあったら怪異などでもどンドン発言していただけるようになったら、もっといい仕事ができる人であると思ひています。
- ◎ 卒業生の職員は、現在一人おりますが、純心学園の名前をしっかり心に大切に持ち、保育士としてがんばっております。一年目のため体調のコントロールが難しいようですが、コミュニケーションを全体でとれる為、申し分ありません。(日々の頑張っている姿)これから県外の研修にも多く参加してもらい、本人をどンドン開花させてもらいたいと思ひます。これからもよろしくお願ひ致します。
- ◎ 会社になじむよう努力してくれています。採用しました2名共社会人としてガンバッテいます。今後、女性とし会社人として私共も一生懸命取り組んでまいります。
- ◎ 前向きに誠実に一生懸命に頑張ってくれています。ただし一般常識、コミュニケーション能力、柔軟性に欠けている様に思ひます。受身ではなく自ら進んで動ける人になってほしいと感じました。
- ◎ 一般常識、学力が劣っているとは思ひませんが、個人差が大きいと感じます。
- ◎ まじめに、一生懸命仕事をしていただいています。
- ◎ 貴大学より今まで2名採用させてもらいましたが、一人の方が熱意を持って働いてもらい、(7年間)とてもよかったので、昨年も是非貴大学からと思ひ採用してもらいましたが、期待を裏切るものでした。最初から全て出来るものではありませんが、誠実に熱意をもって努力できる人材を育ててほしいものです。(PS家庭の問題でもあろうと思うのですが)
- ◎ 一年ごとにすばらしい成長をしてくれています。明るく協調性もあり力のあるたのもしい一員となっています。これからもすばらしい人材を期待しています。
- ◎ やさしく明朗で、一生懸命取り組む姿勢が見られます。積極的な意見を出したり、前向きで建設的な取組みが出来るような指導をしていきたいと思ひます。生き生きと楽しく職務が果たせるよう願っています。
- ◎ 貴校の卒業生は明るく誠実なイメージがあります。素直な反面、プレッシャーや突然の事態に不慣れな気もします。(時に凶太さも必要ということです。)今まで採用した卒業生は、皆素晴らしい人材です。
- ◎ インターンシップ生の受け入れをしています。一生懸命取り組む姿に就職活動への意識の高さを感じられます。事前に学校側がきちんと指導されている印象を受けます。
- ◎ 礼儀正しい・素直である・やる気がある
- ◎ 誠実な人柄を感じさせます。前向きな行動、奉仕の精神。これからも学生さんの育ちのためよろしくお願ひ致します。
- ◎ 真面目でよく頑張ってくれています。子ども達ともコミュニケーションをはかってもらい、学生さんに対する熱心な指導をされている様に思ひます。
- ◎ 人の嫌がる仕事を率先して行い、誠実な仕事をしてくれま。保護者や他の職員ともよくコミュニケーションもとれており、子どもからも慕われ、新人保育士として申し分ありません。今後経験を重ねて園の中堅として、発信、企画、実行してくれるものと期待しています。
- ◎ 鹿純短のイメージとしては、制服の青色のように清く澄んだ明るさである。仕事を確実に遂行しているが、一旦計画通りいなくなるとやや落ち込んで、度重なるストレスとなっていくような気がする。いつも明るく生き生きとして、同僚をはじめ上司や保護者との対応はかなりのいい。これからの幼稚園教育、それに世の中の状況を考えて、専門性を高めるとともに、力強く、たくましい心身が必要だと思ひます。
- ◎ どの学生さんも今までに卒園とかかわりのあった方は、皆、素直で優しく労力を惜みず、熱心に働くばかりでした。そして、今も現に笑顔で子ども達と接し、保育士あるいは栄養士として本園の大切な人材、大切な人材です。これも一重に新たなことを学生生活の中に自然に取り入れているかだと理解しています。保育は祈りです。どうぞこれからもよろしくお願ひします。

学生支援推進プログラム

就職の特徴

平成24年3月卒業予定者の就職内定率79.1%(平成24年2月7日現在)

特徴-1

・好不況に関わらず、高い率を堅持しています。

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
進路決定率	96%	93%	97%	99.3%

特徴-2

・高い就職内定率で推移しています。

本学は新聞で発表される鹿児島県内の短大の平均就職内定率よりも高い内定率で推移しています。

	10月	11月	12月
鹿児島県内短大平均	23.6%	46.3%	62.2%
本学	40.3%	59.9%	71.7%

(平成23年鹿児島労働局発表)

	10月	11月	12月
鹿児島県内短大平均	18.6%	37.5%	52.3%
本学	31.9%	53.2%	61.9%

(平成22年鹿児島労働局発表)

	10月	11月	12月
鹿児島県内短大平均	19.2%	32.2%	45.4%
本学	33.3%	45.4%	52.3%

(平成21年鹿児島労働局発表)

	10月	11月	12月
鹿児島県内短大平均	28.1%	41.5%	54.5%
本学	44.0%	57.1%	69.4%

(平成20年鹿児島労働局発表)

鹿児島純心女子短期大学 〒890-8525 鹿児島市唐湊4-22-1 TEL 099-253-2677

Copyright © 2002-2011 Kagoshima Immaculate Heart College

評価結果

評定：S

評定理由（総論）

キャリア支援を強化するため、Web ページと携帯サイトを構築するとともに、学習力強化のために支援講座とeラーニングシステムを導入した、優れ

た取組である。学生支援ワーキンググループを設置し、教員・学生への周知と推進を行った。さらに「就職&進学アクション手帳」の作成、地元企業との連携のための要員の配置、専門アドバイザーの招聘等、特色ある取組を実施している。

実地視察報告

視察日：2012(平成24)年10月5日（金）



総評

1. 学生支援推進プログラムの計画・実施において、学長のリーダーシップの下で、ワーキンググループ（各学科、事務局、アドバイザー）を組織し、全学的な教職員の合意形成が成された。それに基づく全学的なキャリア教育、支援の見直しと改革になっている。
2. 他大学への視察、教職員研修を通じてキャリア教育の向上を図っている。
3. 短期大学の場合、入学後1年で就職活動に入ることやカリキュラム等の関係で、4年生大学と比べ、キャリア教育や意識形成の面でハンディがある。本取組の地元企業、鹿児島市青年会議所との連携、フォーラム開催や卒業生との懇談会は、学生と社会の接点、交流の場を提供し、学生のキャリアに関する意識変革と教育の場となっている。
4. また、現在の学生の状況をみると、基礎学力の向上と専門知識の習得とを同時に追求することが求められているが、学習力支援講座を通じて、英語力、国語力等の基礎学力向上を就職支援講座と合わせて実施し、成果を上げていることは重要である。
5. さらに、就活手帳の充実、求人情報システムの構築により学生の就職活動の利便性が向上し、情報の取得が容易となり、就職活動をスムーズにした。
6. 同時に、キャリア支援室の整備によるアドバイザー制度の充実により、学生の就職への不安・悩みの解消に役立っている。以上を通じて、学生のキャリア意識の変革と基礎学力の向上を実現し就職率を向上させており、今後は、大学の予算を通じて継続的に実施し改善することになっている。

個別事項

1. ワーキンググループは、学科の代表、事務局のキャリア担当責任者、アドバイザーで構成されており、全学的な教職員の合意に有効な組織となっている。
2. 地元企業、鹿児島市青年会議所との連携やフォーラム開催及び卒業との懇談会は、学生にとっては、社会との貴重な交流の場となっている。学生へのヒアリングによると、特にフォーラムと卒業生との懇談会は、参加者も多く、意識キャリア

意識の変革に繋がり、就職活動に積極的になったと評価している。学習力支援講座では、英語のTOEICのスコア向上等の成果を上げている。しかし、Eラーニングシステムについては、目的に比べて学生の活用が充分ではないので、活用方法等の指導等の改善が必要である。

3. 就活手帳は、履歴書や応募書類等の書き方や就職活動に必要な事項が記載されており、学生に十分に活用されている。求人情報システムの構築により、携帯電話やパソコンからいち早く求人情報を得ることが可能となった。キャリア支援のためのホームページの充実により、キャリア支援や求人情報を効果的に提供され、問い合わせも増加している。
4. 学習支援室やキャリア支援室の整備・充実により、学生が自由に入出入りし、教員やスタッフからアドバイス、指導が行われ、学ぶ意欲と就職活動の意欲向上に繋がっている。
5. 他大学への視察や専門アドバイザーによる教職員の研修により、教職員の意識向上と指導力向上を実現している。以上に加えて、地元企業だけでなく県外企業にも訪問し、就職拡大に努めている。